



ブリックス 取扱説明書



- ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
- 保護者のかたが本書をよくお読みになり、万全な指導をお願いします。
- 日常点検を怠ると、思わぬ事故や車椅子の破損につながります。
- お読みになられた後でも、大切に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。

本製品に関するお問合せは、19ページをご参照ください。

Kマークは川村義肢株式会社の登録商標です。

目次

[1] 安全にご使用いただくために	-----	3
[2] 構成部品と各部の名称	-----	6
[3] 機能と特徴	-----	7
[4] 車椅子に乗る前の点検について	-----	7
[5] 組立方法	-----	8
[6] 折りたたみ方法	-----	9
[7] 調整方法と操作方法	-----	10
[8] 安全な使い方	-----	14
[9] 車載について	-----	15
[10] 日常のお手入れと点検方法	-----	16
[11] 保管方法	-----	17
[12] 廃棄方法	-----	17
[13] 工具	-----	17
[14] 仕様諸元	-----	18

[1] 安全にご使用いただくために

本製品の機能を十分に生かし、かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよく読み内容を理解してください。その後大切に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。

● 絵表示について

この取扱説明書では色々な絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に加える恐れのある危害や損害を未然に防ぐ為の目印となるものです。その表示の意味は次のようになっています。内容を良くご理解の上、本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定され、かつ切迫の度合いが高い内容を示します。



この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 日常の保守点検は1日1回使用前に搭乗者もしくは介助者が必ず行ってください。また、保守点検を行っていない車椅子は使用しないでください。保守点検の方法は[10]日常のお手入れと点検方法 をご参照ください。
- 緊急の時以外は搭乗者が前のめりになるような急ブレーキはかけないでください。搭乗者が車椅子から転落して死亡又は重傷を負う恐れがあります。
- 本製品を使用中はブレーキが確実に効いていることを絶えず確認しながら使用してください。ブレーキが効かない場合、介助者が車椅子を制御できず死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 階段等を上り下りする際には本体フレーム以外は持たないでください。持ち上げた際に車椅子が破損して階段等から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 移動している時以外は必ず駐車ブレーキをかけてください。意図せぬ時に動き出して事故等を起こし、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 走行中、身体を乗り出す等して、走行の安全性を損なうことのないようにしてください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- グリップ等に荷物をぶら下げないでください。後方に転倒し、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 階段等を上り下りする際は、4名以上の方で車椅子を持ってください。階段等から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- シートの上に立たないでください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 踏み台や脚立のかわりに使用しないでください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 本製品は歩行器ではありません。歩行器がわりに使用しないでください。
- 搭乗者、介助者は本製品を修理改造しないでください。破損等が生じた場合は必ず販売店へ修理交換についてご相談ください。
- 傾斜地での走行または駐車は十分注意してください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 搭乗者と介助者は、本製品の使用方法や取扱注意事項等が理解できるまで本製品をご使用にならないでください。
- 本書の安全に関する指示事項には必ず従ってください。



注意

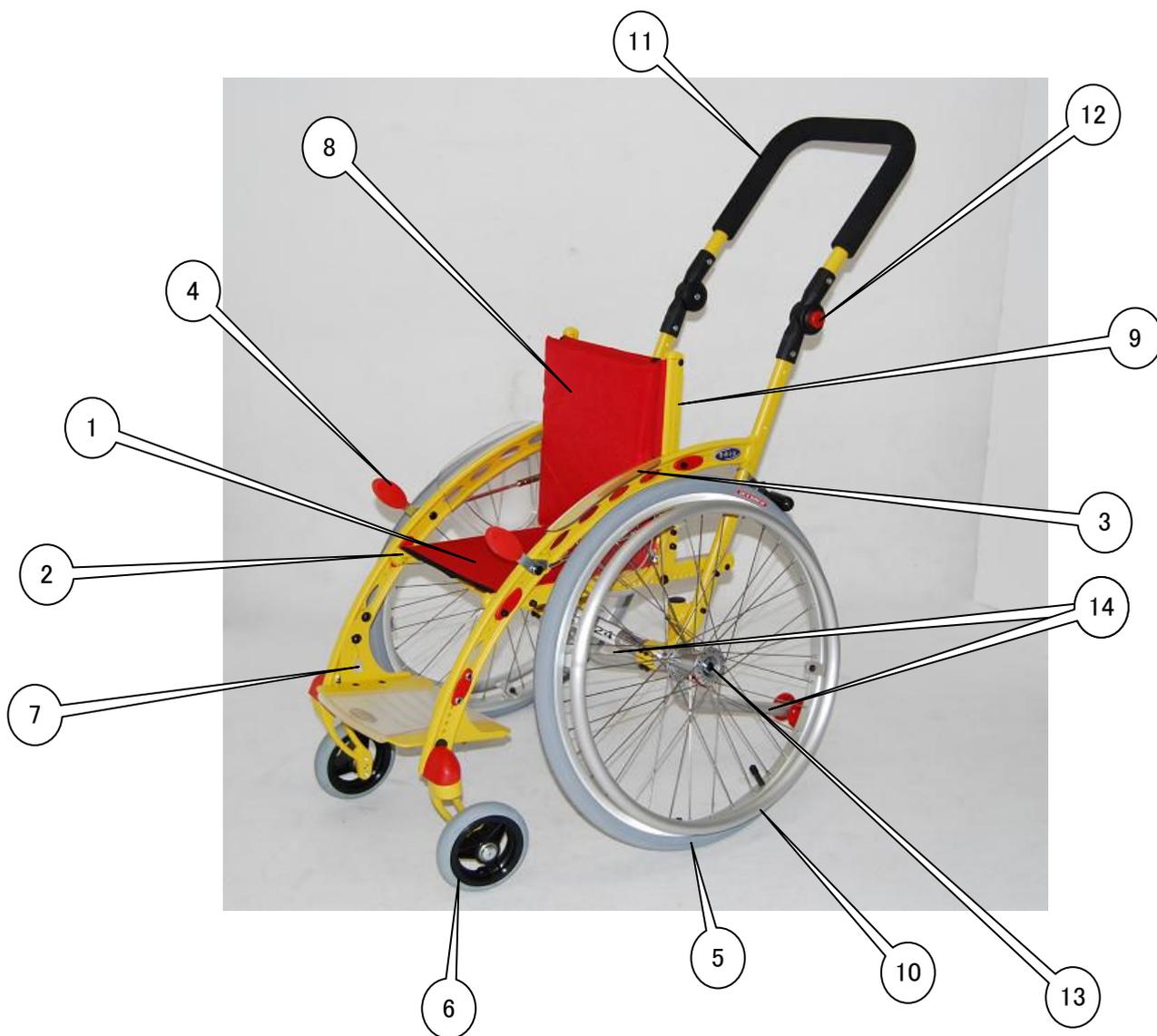
この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 直射日光のあたる場所や炎天下の車内に長時間放置したり、熱器具(ストーブ等)の近くで使用しないでください。熱により変色や変形する恐れがあります。著しく変形した本製品は使用しないでください。
- 車椅子走行中は、スポークで指や手などをはさまないようにしてください。
- 市販されているクッション類や座ぶとんを使用する場合は、販売店に相談してください。着座中の姿勢に影響を及ぼす場合があります。
- 本製品の搭乗者最大体重は40kg以下(手荷物等の積載物を含む)です。40kgを超える場合は本製品が変形する恐れがあります。変形した本製品は使用しないでください。
- フットサポートや足を段差にぶつけないようにしてください。けがをしたりフットサポートが破損する恐れがあります。
- 走行中、足がフットサポートから落ちないようにしてください。
- 製品の不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄については販売店まで問合せしてください。
- 本製品を組み立てる際は、シートパイプなどで指を挟まない様にしてください。
- 本書に規程した方法以外での使い方に関しては、安全性は保証できません。
- 本製品は改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一不審な点や誤り、乱丁、落丁記載漏れなどに気付いた場合は販売店までご連絡ください。
- 本書は製品と共に常に手元に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。
- 本書を紛失または損傷した場合は速やかに販売店までご連絡ください。
- 本書の全部または一部を無断で転載複製することを禁じます。

[2] 構成部品と各部の名称

本製品は下記の部品で構成されています。不足部品がないか点検してください。

① シート	-----	車椅子の搭乗者が座る部位
② シートパイプ	-----	シートを支持するフレームの側方パイプ
③ サイドガード	-----	衣服の巻き込み、汚れを防ぐためのカバー
④ 手押しブレーキ	-----	車椅子の駐車時に用いるブレーキ
⑤ 駆動輪	-----	自走用標準型の駆動力を伝える車輪
⑥ キャスタ	-----	操舵を行う小車輪
⑦ フットサポート	-----	足部の支持位置
⑧ バックサポート	-----	搭乗者の背部を支持する部位
⑨ バックサポートパイプ	-----	バックサポートを支持するパイプ
⑩ ハンドリム	-----	車椅子の駆動輪についている操作用の握り部
⑪ 手押しハンドル	-----	介助者が車椅子を押す為のハンドル
⑫ ハンドル折りたたみボタン	-----	手押しハンドルを折りたたむためのボタン
⑬ クイックリリースアクセル	-----	駆動輪を取り外す際の車軸
⑭ 転倒防止バー	-----	後部への転倒を防止するもの (右側のみ標準装備)



[3] 機能と特徴

本製品には以下の特徴があります。

1.シート各部の調整

シート角度、シート位置の調整機能があります。

2.フットサポート高さ、前後位置

体の成長にあわせて調整可能。

3.フレーム、シートカラーの種類が多い

フレーム色、シート色がそれぞれ個別に選択できるので、多くの組み合わせのなかから自分仕様の1台を作成することができます。

4.収納式転倒防止バー

後部への転倒を防止します。(右側のみ標準装備)

[4] 車椅子に乗る前の点検について

本製品をご購入いただいた場合は、ご使用前にまず下記のチェックを行ってください。

	<h2>注意</h2>	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。
---	-------------	---

〈ご使用前に必ず次の点検を行ってください。〉

- | | | |
|--------------------------------|-------|--------------------------|
| (1) 手押しブレーキは効くか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (2) シートやバックサポートは緩みなく取り付けられているか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (3) シートやバックサポートに損傷や裂け等はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (4) 縫製部分のほつれはないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (5) マジックテープ®の接着不良はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (6) 各部にひび割れや欠け、変形等はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (7) 各部のねじにゆるみやガタツキはないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (8) カシメ部分にゆるみやガタツキはないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (9) 駆動輪がパンクしていないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (10) その他異常はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |

万一破損や異常が発生した際にはそのまま使用しないで、必ず販売店にご連絡ください。異常状態のまま、絶対に使用しないでください。

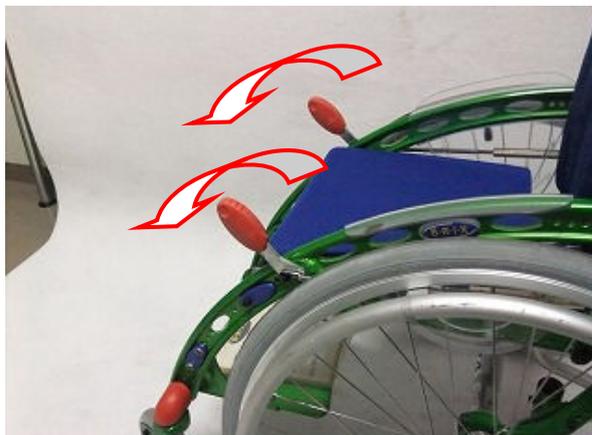
[5] 組立方法

(1) 駆動輪の取り付け

クイックリリースアクセルの中央のボタンを押しながらタイヤが当たるまで押し込んでください。
その際指つめにご注意ください。



(2) 左右の手押しブレーキをかけます。 前方に押すようにかけてください。



(3) 転倒防止バーの設置

足などで下へ下げながら後方へ回転させ、設置します。(右側のみ標準装備)



(4) 手押しハンドルの調整

必要であれば、手押しハンドルの高さを調整します。ハンドル折りたたみボタンを押しながら、ハンドルを回転させカチッと音がするところにあわせたら、ボタンを離します。



[6] 折りたたみ方法

(1) 手押しハンドルの収納

ハンドル折りたたみボタンを押しながら、ハンドルを下に回転させ、パイプにハンドルが近づいたらボタンを離します。



(2) 転倒防止バーの収納

足などで下へ下げながら前方へ回転させ、収納します。(右側のみ標準装備)



(3) 手押しブレーキの解除

後方へ引っ張るようにして解除します。



(4) 駆動輪の取り外し

クイックリリースアクセルの中央のボタンを押しながらスポークをつかんで引き抜いてください。



[7] 調整方法と操作方法

7-1 フットサポートの調整

7-1-1 フットサポートの高さ調整

- (1) フットサポートを固定している両側の六角ネジを外します。
- (2) 希望する高さにあわせて、フレーム両側にある、ねじ穴のカラーの位置を決めます。ねじ穴のカラーの穴がフレームの穴の中心になるように、よく見えるようにセットしてください。
- (3) ねじ穴の両側の六角ねじを内側から差し込み、再度しっかりと固定します。

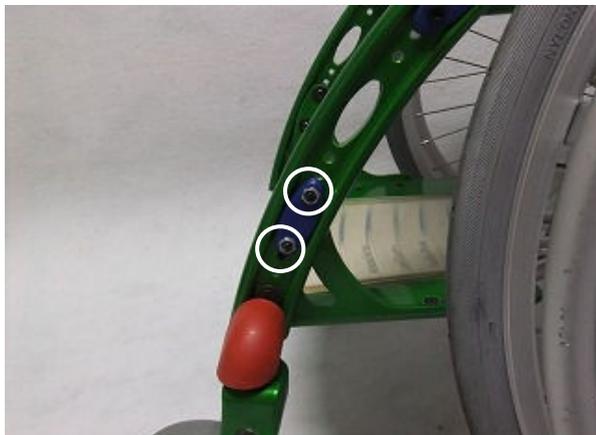
7-1-2 フットサポートの前後位置調整

- (1) フットプレートの上のねじを取り外します。
- (2) フットプレートの深さを、対応するフットプレートフレームにあわせて調整します。
- (3) フットプレートの上のねじを取り付けます。

7-1-3 フットサポートの角度調整

- (1) フットプレート両側下部の六角ねじを取り外します
- (2) フットプレート両側上部の六角ねじを緩めます。取り外さないでください。
- (3) フットプレートを希望の角度に設定します。対応する穴を見て、フレームの穴と平らになるようにします。
- (4) フットプレート両側下部の六角ねじを取り付けます。

7-1-1



7-1-2



7-1-3



7-2 バックサポートの調整

7-2-1 バックサポートの張りの調整

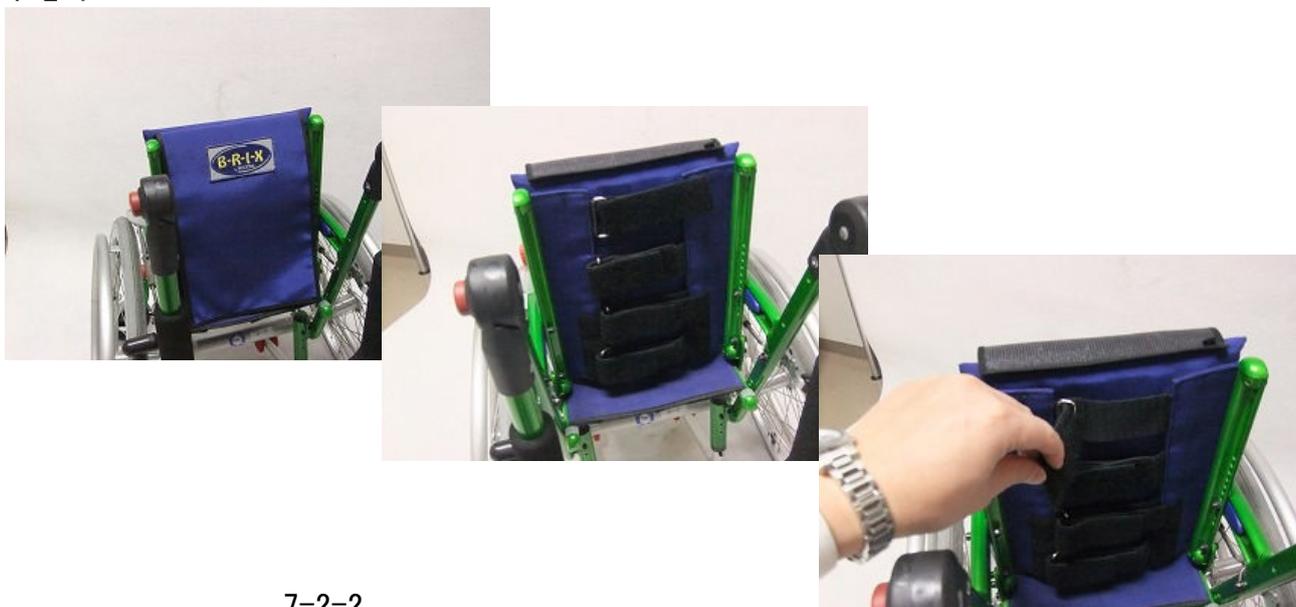
- (1) バックサポートカバーを外し、前側へめくります。
- (2) バックサポートのベルトを外し、希望する位置に合わせて、固定します。このときベルトは最低10cmは折り返すようにしてください。
- (3) バックサポートカバーを元に戻します。

7-2-2 バックサポートの角度調整

バックサポート角度は84度から99度まで、3度刻みで調節できます。バックサポートの基本の位置は、シート座面が水平で、90度です。

- (1) バックサポート取付ねじ左右を外します。このとき裏側にあるナットをレンチで固定しながら作業します。
- (2) バックサポートとシートフレームを固定しているねじ左右を緩めます。左右とも引き抜かないようにします。
- (3) 左右2箇所、2枚の楕円プレートを希望する角度に合わせて、位置を決めます。楕円プレートの穴がフレームの穴に揃うように確認しながら行います。
- (4) 最初に外したねじとナットをそれぞれ新しく決めた位置へ取り付けます。
- (5) 緩めていた座面側のねじを左右とも締めます。

7-2-1



7-2-2



7-3 転倒防止バーの使用・調整方法

転倒防止バーは車椅子フレーム右側にセットされ、ティルトした際の安定性を確保します。また、シートの下へ旋回させて収納することも可能です。追加で左側にも転倒防止バー(別売)を取り付けることができます。



ティルト時の安定性をあげるため、転倒防止バーを後方に出さない状態では決して運転しないでください。



転倒防止バーは特定の状況に対して十分な保護を確約するものではありません。下記のことを絶対にしないでください。

- ・ 上体をバックサポートより後方へ傾けること
- ・ 急な発進操作(特に上り坂を登る場合)

7-3-1 転倒防止バーの出し入れ方法

(P8.9参照)

- (1) 足などで転倒防止バーを押し下げます。
- (2) 押し下げた状態のまま、収納する際は前方へ、使用する際は後方へ旋回させます。

7-3-2 転倒防止バーの高さ調整

- (1) 転倒防止バー固定部近くのねじを取外します。
- (2) バーを希望の高さにあわせませす
- (3) ねじを差し込み、再度固定します。

7-3-2



7-4 ブレーキの操作方法

7-4-1 ブレーキをかける

両方のブレーキレバーを前方へ押し出す。 (P8参照)

7-4-2 ブレーキの解除

両方のブレーキレバーを後方へ引きます。 (P9参照)



注意

手押しブレーキは、車椅子の構成品の中でも最も重要な部品です。下記の事項にご注意ください。

- ・ 車椅子を斜面に止めるときに片側のみのブレーキを掛けておくと、固定した側のタイヤを軸にもう一方のタイヤが動いてしまいます。道路の傾きによっては、転倒の危険性があります。
- ・ 斜面で不意に曲がらない為にも、ブレーキは左右同時に掛けてください。
- ・ ブレーキの機能は、タイヤが磨り減ったり、空気圧が不十分だったり、濡れていると性能が低下します。

7-4-3 ブレーキの調整方法

- (1) ロックナットを緩めます。
- (2) 調整ネジを回転させてかかり具合を調整します。強くする場合は時計回り、緩めるときは反時計回りにまわします。
- (3) ロックナットを締めます。



[8] 安全な使い方

8-1 段差での走行方法

- (1) キャスタが段差の直前になるような位置で停車します。このとき、段差に対して車椅子を直角に止めてください。
- (2) 手押しハンドルを押しながら（必要であれば転倒防止バーを踏んで）車椅子をティルトさせ、キャストを段の上に持ち上げてください。
- (3) 駆動輪を段に突き当て、車椅子を押しながら手押しハンドルを持ち上げます。

8-2 坂道での走行方法

下り坂ではハンドリムを使ってスピードを落とし、必ず前向きで走行してください。上り坂では上体を前傾させて重心が後方へ倒れることを防いでください。いずれも可能であれば、他の人の介助を得てください。特に8%を超える勾配（下図参照）は危険です。決して上り下りしないでください。上りの際に、急発進や、バックサポートの後ろに荷物を下げること、上体をそらして後方へ体重をかけることはしないでください。転倒の恐れがあります。

8-3 傾いた道での走行方法

傾いている側の手に力を入れて、車椅子が道の低い方へ曲がらないようにしてください。普通の押し方では低い方へ曲がってしまいます。

8-4 溝のある道での走行方法

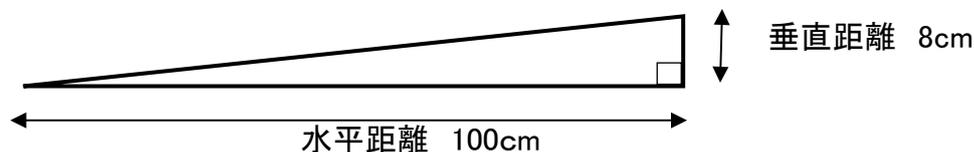
キャストや駆動輪の幅や直径よりも広い溝や踏み切り等を通る際には、溝に対して直角になる角度で進入してください。直角でない場合、キャストや駆動輪が溝にはまる恐れがあります。「8-1段差での走行方法」のように、溝の手前でキャストを持ち上げてから通過するのも1つの方法です。

※グレーチング（側溝を埋める金網）を通る際には直角ではなく、斜めに進入してください。



交差点や踏切では特に注意してください。交差点や踏切内で立ち往生すると大変危険です。

【図：8%の勾配】



[9] 車載について



自動車で移動の際、搭乗者は必ず車椅子から自動車のシートに移り移るようにしてください。この車椅子は突発的な事故などから搭乗者を守られるよう、デザインされていません。これらの事項が守られなかった場合、事故等により生じたいかなる損害においても一切責任を負いません。

車載方法

車椅子を自動車に載せる際には、本体が傷つかないよう十分なスペースをご用意ください。

本体をそのまま収納する十分なスペースがない場合は、以下の手順で車椅子をコンパクトにすることが可能です。

- (1) 手押しハンドルの収納
 - (2) 転倒防止バーの収納
 - (3) 手押しブレーキの解除
 - (4) 駆動輪の取り外し
- ※ (1)～(4)についてはP.9を参照



上記手順を行う際には、指つめ等にご注意ください。

[10] 日常のお手入れと点検方法

下記の部分を1日に1回ご使用前に必ず点検してください。また、点検していない車椅子はご使用にならないでください。



点検の結果異常を発見された際にはそのまま使用せず、販売店に修理を申し出てください。

10-1 手押しブレーキ

駆動輪の空気圧が適正で、乗車状態にある時、ブレーキを掛けた際、前後に動かない状態が適正な効き具合です。上記状態で動く場合は、そのまま使用せず、販売店に申し出てください。

10-2 駆動輪およびキャスト

- (1) 駆動輪に空気は入っているか。(適正空気圧はタイヤ側面に明記)
- (2) パンクしていないか。
鋭利な物体、釘、ねじ、ガラスの破片などによって、空気入りタイヤがパンクした際には、チューブを修理か交換してください。
- (3) 駆動輪やキャストに異物が刺さっていないか。
- (4) 駆動輪の溝はあるか。
- (5) 駆動輪に大きなひずみや損傷はないか。
- (6) 駆動輪の空気バルブがゆるんでいないか。
- (7) 大きなガタツキがなくスムーズに回転するか。

10-3 フットサポート

- (1) ねじが緩んでいないか。
- (2) 汚れた場合はぞうきん等で拭いてください。

10-4 バックサポート・シート

汚れた場合は車椅子から取り外し、やわらかいスポンジやタオルを使用し、中性洗剤で汚れを洗い落としてください。

10-5 シートパイプなどの塗装面

塗れたタオルを固く絞って中性洗剤を用いて拭いてください。

[11] 保管方法

水分や直射日光をさけ、日陰で保管してください。

[12] 廃棄方法

各自治体の指示に従い、廃棄処分してください。

- | | |
|------------------|--------|
| (1) 本体フレーム | アルミ |
| (2) シートなどの布 | ポリエステル |
| (3) タイヤ、チューブ | ゴム |
| (4) キャスタ、転倒防止の車輪 | プラスチック |

[13] 工具

調整とメンテナンスには以下の工具が必要です。

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) オープンエンド又はメガネレンチ | 6.8.9.10mm |
| (2) 六角レンチ | 3.4.5mm |

ねじの締め付けトルク値

他に記載がない限り、ねじの締め付けは以下のトルクで行ってください。

M4ねじ…3Nm M5ねじ…5Nm M6ねじ…10Nm
M8ねじ…25Nm M10ねじ…50Nm M12ねじ…85Nm

※トルクレンチなど適切な工具がない場合は販売店に調整してもらうようにしてください。

[14] 仕様諸元

型式 ブリックス 1.123

フレームサイズ	ミニ	ミディ	マキシ
タイヤサイズ(インチ)	20	22	24
全長(mm)	650	670	670
全高(mm)	700		
シート幅(mm)	180~360(20mm間隔)		
バックサポート高(mm)	200~340(20mm間隔)		
キャンバー角	6度/11度		
キャストサイズ(インチ)	4/5/6		
フレーム幅	シート幅+60mm		
フレーム高	400mm(駆動輪取り外し、手押しハンドル折りたたみ時)		
使用可能温度	周囲の温度 -20~40度 保管温度 -10~40度		
許容斜面/傾斜	8%		
本体重量	最小9kg(駆動輪含む)		
フレーム重量	最小5.5kg(駆動輪含まない)		
許容合計重量	49kg(本体重量含む)		
許容最大荷重	40kg		
	荷物などがある場合、ユーザーの体重からその分を減らしてください。例えば、5kgの荷物を持つのであれば、ユーザー体重は5kg減らして35kgとなります。		
全幅	キャンバー角6度	ハンドリム距離15mm	シート幅+280mm
		ハンドリム距離25mm	シート幅+300mm
	キャンバー角11度	ハンドリム距離15mm	シート幅+360mm
		ハンドリム距離25mm	シート幅+380mm

以下調整可能部位

シート奥行(mm) (調整式10mm間隔)	180~240	220~320	260~360
バックサポート角度	84~99度(3度間隔)		
シート角	0~6度(2度間隔)		
シート・フットプレート 間距離(mm)	140~260	180~290	210~320
前座高(mm)	360~410	410~460	450~500
後座高(mm)	330~420	380~470	420~510
ハンドリム距離	15mm/25mm		

品質保証書

本製品は、弊社の品質管理・検査のもと皆さまのお手元にお届けしておりますが、万一故障した場合には保証規程に基づき無償修理いたします。その際は現品に保証書を添えて販売店へご提出ください。

製品名 (Typ)		マイラ車椅子「ブリックス」(1.123)		
シリアルナンバー		Modell	Baujahr	Fz-I-Nr
お客様 情報	(フリガナ) ご氏名			TEL
	住所	〒		
ご購入年月日		年	月	日 (保証期間本体フレーム4年その他2年)
販売店名 住所 TEL				

- ご購入年月日、お客様情報の欄に記入がない場合は無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管ください。
この保証書は、本書および保証規程に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するもので、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間が過ぎた後の修理等についてご不明の場合は販売店までお問合せください。

<保証規程>

1. 保証期間はご購入の日から本体フレーム4年間、その他2年間です。保証期間内に発生した故障については弊社が無償修理致します。
2. 保証の対象となる部品は本製品一式です。ただし、消耗品は除きます。
3. 無償修理には保証書を提出してください。
4. 本製品に関するご相談は、下記連絡先にて承ります。
5. 保証書の保証対象とならない故障および損傷につきまして、弊社の責任に帰属する場合は、保証期間に関わらず無償修理いたします。
6. 次の場合には、無償修理はできません。ただし、特にご希望の方には実費にて修理いたします。
 - ① 保証書を紛失された場合
 - ② 誤ったご使用方法、あるいは誤った修理・改造による故障・損傷
 - ③ 火災、地震等の天変地異による故障・損傷
 - ④ 保証書にご購入年月日、お客様名、シリアルナンバーの記入のない場合、または不当変更を加えられた場合
 - ⑤ ご購入後の輸送、移動、落下等による故障・損傷
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。

輸入・販売元

パシフィックサプライ株式会社

本社営業部	〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1	TEL:072-875-8011 FAX:072-875-8015
札幌営業所	〒060-0051 北海道札幌市中央区南1条東6-2-12 松浦ビル1F	TEL:011-218-5801 FAX:011-218-5805
仙台営業所	〒980-0873 宮城県仙台市青葉区広瀬町3-3 ハイアット広瀬町102号室	TEL:019-661-5407 FAX:019-661-5408
東京営業所	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-12グレイスビル2F	TEL:03-3352-0757 FAX:03-3355-3154
名古屋営業所	〒486-0946 愛知県春日井市勝川町西3-5	TEL:0568-34-2696 FAX:0568-34-2697
広島営業所	〒733-0035 広島県広島市西区南観音7-5-13ロイヤルシャトー中田1F	TEL:082-293-6255 FAX:082-293-6299
福岡営業所	〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出2-2-12	TEL:092-641-8151 FAX:092-641-0444

2012年8月 改定 4 版